



社会福祉法人 三愛学園

児童養護施設 さんあい
緊急一時保護ユニット オリーブ
ファミリーホーム 茜の里

平成29年度事業報告

神を愛し 人を愛し 土を愛す

平成29年度事業報告

施設長総括

平成29年度も毎日の生活の中で子どもたちと職員の安心安全が守られたことは、何よりも感謝して報告すべきことです。その他に特筆すべきこととしては、さんあい園舎内に緊急一時保護ユニット「オリーブ」が開設され、さんあい入所児童以外の県下の社会的養護の必要な子どもたちのニーズに応えることができたことです。保護された子どもたちの中には、母子家庭で親が癌に罹り入院が必要な期間だけお預かりした子どももいました。私も同じ病から職場復帰して間もない時期のことでしたので、親子の抱く不安や恐怖は心の底から理解するものであり、さんあいが「オリーブ」の設置により少しでも彼らのお役にたてたことを神様に感謝いたしました。また、「オリーブ」開設にあたりご尽力くださいました、県こども安全課や熊谷児童相談所の職員の皆様にも心より感謝申し上げます。

多くの施設で職員確保に大きな課題を抱える中で、さんあいでは10名の新人職員を確保することができました。それぞれ先輩職員の指導や園内外の研修を受講しながら成長していますが、何よりも子どもたちとの関わりが彼らの成長の糧となっています。なれない食事づくりに奮闘し、ためし行動で悩み、夏休みの外出で楽しい時を共有し、悩みや悲しみを共有することで子どもたちと共に成長しています。

昨年度は、タイの子どもたちとの交流ツアーは実施致しませんでした。引き続きシヤンタブリ県の貧困家庭の子どもたちとチョンブリ県の児童養護施設の子どもたちへの支援は、さんあい祭のバザー等の売り上げを用いて継続いたしました。また、クリスマス会の礼拝で捧げられた献金により、ロヒンギャ難民への支援に募金することができました。これからも捧げることを実践することにより、さんあい子どもたちと職員の成長の助けとしてゆきたいと思います。

また昨年度は、2名の中学生が志望校に合格し、高校生として新たな一步を踏み出しました。高校生になるということは、すぐ先にさんあいからの旅立ちと自立の生活が待っています。昨年度大学進学夢かなわず、仕事をしながら再チャレンジをしていた卒園児も、見事合格することができました。ハラハラ、ドキドキの寒い寒い冬でしたので、新年度の春の温かさが心まで包こんでくれます。

最後に、昨年度は2名の子どもたちがさんあいを巣立って行きました。2名ともさんあいから比較的近くに就職し生活しています。もう何度かさんあいに立ち寄ってくれて、職員としては嬉しい限りです。卒園児の支援は限定的になりますが、これからは出来る限り自立を応援して行こうと思います。29年度、さんあいを支えて下さった関係者の方々に心より感謝をいたします。ありがとうございました。

平成29年度事業報告

1. 入退所児童データ

①入退所児童数（29. 4. 1～30. 3. 31）

月	在籍数	入所	退所	入所理由	一時保護	一時保護理由	一時保護解除理由
4	34	1		虐待	2	虐待2	
5	35				1	入院1	家庭引取1
6	35				3	出産2・就労1	
7	35				2	就労2	家庭引取4
8	35				2	虐待1・レスパイト1	家庭引取1
9	35						家庭引取2
10	35				3	虐待2・入院1	家庭引取2
11	35				2	虐待2	家庭引取1・変更1
12	35				2	虐待2	施設入所1
1	35				1	虐待1	家庭引取1・変更1
2	35				2	逮捕1・虐待1	
3	35	2	2 高校生	乳児院2	1	逮捕1	家庭引取2・施設入所2
合計	419	3	2		21		19

②退所先別（29. 4. 1～30. 3. 31）

退所先	人数	男児	女児
家庭			
里親委託			
就職	2	1(グループホーム)	1
措置変更			
合計	2	1	1

平成29年度事業報告

③児童相談所別児童数（30.4.1）

児童相談所	中央	南	熊谷	川越	越谷	所沢	さいたま市	合計
男児	0	3	5	6	0	5	0	19
女児	0	2	5	0	2	4	5	16
合計	0	5	10	6	2	9	5	35

④年齢別在籍児童数（30.4.1）

	幼児					小学生						中学生			高校生			計
	1才	2才	3才	4才	5才	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
男			1	1	1	2	2	1	1		1	1	2		1	2	1	17
女		2	1	1		1		1	2	1	1	1	2	2	1	2		18
計	7					13						8			7			35

平成29年度事業報告

⑤措置理由別児童数

措置理由		平成29年度（H29. 4. 1）	平成30年度（H30. 4. 1）
家 出	父		
	母		
	父母		
死 亡	父		
	母	(3)	(2)
	父母		
疾 病	父		
	母		
	父母		
離婚		5	5
棄児			
虐 待	身体的虐待	8	8
	心理的虐待	6	6
	性的虐待	1	1
	ネグレクト	1	0
親の精神障害		3	3
服役		2 (2)	2
未婚の母の子		5	5
経済的困難		3	4
その他		1（里親委託解除）	1（里親委託解除）
合計		35	35

平成29年度事業報告

2. 年間行事

行事の種別	期日	実施内容
園内行事 (全体)	4月 5月 6月 7月 8月 11月 12月 1月 3月	入園入学を祝う会 創立記念祭(さんあい祭り)、第二回さんあい同窓会 さんあいレストラン ガーデンパーティー 栄養指導「手洗いの大切さと方法」 ガーデニングコンテスト、さんあいレストラン クリスマス会、さんあい大掃除&さんあいレストラン もちつき・2分の1成人式 卒園卒業を祝う会
グループワーク 活動	5月 7月 8月 10月 11月	わくのびキャンプ長野県小諸市(小学生3名、職員1名) 富士山登山(小中学生10名、職員5名) 児童福祉施設親善球技大会(小中高生12名、職員5名、Bブロック3位) Summernight! 2017! BBQ・花火(中高生10名、職員4名) 第一回ヒップホップダンス(小中高生9名) ※プロダンス教師インカ様のレッスン(その後定期的に実施) 動物ふれあい体験(こども動物自然公園、小学生11名、職員6名) 勤労感謝の日クッキー作り(幼児7名、職員5名)
カフェさんあい		平成29年度は都合により開催無
招待関係 地域行事 深谷西島教会 高校生自立支援 セミナー等 (施設又は部屋で 対象児童を調整)	4月 5月 6月	深谷東ロータリークラブ様BBQ大会(小中高生12名、職員3名) 教会子ども祝福式(小学生、職員) 大相撲地方巡業深谷ふっちゃん場所招待(幼児6名、職員4名) 大宮アルディージャ様観戦招待(高校生1名、職員1名) 大宮アルディージャ様観戦招待(小中学生2名、職員1名) 教会花の日礼拝(小学生、職員)

平成29年度事業報告

	7月 西武ライオンズ様観戦招待（高校生1名、職員1名） 8月 おかあさんといっしょコンサート招待（幼児4名、職員4名） 川嶋あい様コンサート招待（中学生3名、職員1名） 9月 大宮アルディージャ様観戦招待（小中高生3名、職員1名） 11月 軽井沢おもちゃ王国様招待（幼児小学生20名、職員等10名） 資生堂様高校生自立支援セミナー（高3年生1名、職員1名） 12月 大人サンタチャリティーイベント「東京ディズニーランド招待」 & ジェームス・スカー様講話（中高生10名、職員2名） キッザニア東京様招待（小学生1名、職員1名） 1月 ポップサーカス様埼玉公演招待（幼児小学生5名、職員2名） 2月 浦和レッズ様観戦招待（小学生1名、職員1名） 8～1 ブリッジフォースマイル様「巣立ちプロジェクト」全6回（高3生1名）
子ども会行事 （小学生対象）	7月 七夕祭り飾り作り 8月 櫛挽夏祭り、ラジオ体操 9月 岡部地区体育祭 11月 子供会親睦食事会 12月 クリスマス会 3月 歓送迎会
各部屋行事(特 別外出・宿泊行 事)	8～2月 富士急ハイランド、東京ディズニーランド、海水浴×2部屋（新潟県柏崎市）、フォレストアドベンチャー秩父&キャンプ（飯能）、栃木県那須サファリパーク&キャンプ川遊び（栃木県）
（部屋外出行 事）	通年 映画館、スケート場、森林公園、るなあばあく、東武動物公園、大宮ラクーンよしもと劇場、美術館、博物館、ぐんまこどもの国、川遊び、アンパンマンミュージアム、さいたま水上公園、カラオケ、狭山スキー場、高崎市少年科学館、桜山公園、東京ワンピースタワー、西武遊園地、GETAIRJAPAN、鉄道博物館、パティオ、ららぽーと富士見、スカイツリータウン、幕張メッセ、ラウンドワン 等々 ※その他、買物・外食・地域まつり等への外出がある

平成29年度事業報告

3. 職員研修実績

主催団体・機関	研修会内容
県教育局・深谷市	児童虐待防止支援研修、虐待防止講演会、虐待防止ネットワーク会議
県社協	人材育成研修、社会福祉法人監査研修、感染症専門研修、発達障がいステップアップ研修、チューター研修
全養協	全国施設長会議、東日本施設長研修、家庭支援専門相談員研修、中堅職員研修
埼玉児研・埼玉児協	施設長県外視察研修、主任級研修、心理職研修、新任職員研修全3回、施設間職員派遣研修（2施設）、中堅職員等合同研修、中堅職員テーマ別研修、埼玉県児童福祉施設指導者研修、調理職研修、基幹的職員フォローアップ研修
関東ブロック	関東ブロック施設長研修
その他	熊谷児相里親会研修会、資生堂自立支援セミナー、日本キリスト教児童福祉連盟子育てワークショップ研修・子育てワークショップフォローアップ研修、埼玉県施設士会管理者研修、メンタルヘルス講習会、埼玉性研性教育学習会、養問研全国大会、全国児童養護施設協働ケア研修（心理士）、HP勉強会、子どもの権利条約に関する研修、防災研修、JaSPCAN、児童養護施設江南園内研修、児童養護施設ふれんど園内研修、玉淀乳児院職員研修
施設内研修 主催セミナー 講演会 等	* 施設内職員研修 さんあいスーパーバイザーである「まめの木クリニック」の藤井和子先生によるペアレント・トレーニング及びケースカンファレンス等の実施。他施設の職員、里親、地域家庭も定期的に参加し、6月、7月、10月、11月、2月の全5回実施。 （他施設職員、里親、近隣児童福祉関係団体等、約40名の参加有） * ブリッジフォースマイル施設職員研修 平成29年9月20日さんあい交流ホール 「ビジネスマナー講座」 講師 永久理恵 氏 （対象：さんあい全職員）

平成29年度事業報告

4. ケアワーク総括

①女子ブロック

女の子ブロックは2歳児2名、4年1名、6年1名、職員5名を迎え29年度が始まった。5月下旬の創立記念祭での各ホームの出店に向けて子どもも職員も一致団結。夏から秋にかけての特別外出でも各ホームらしさが出た外出となった。ブロック全体の雰囲気を作っているのは小学生5人。雨が降っていない限りほとんど外で遊ぶ元気な女の子たちである。ある日ごっこ遊びでバンドを披露してくれたが、ほうきをギターに、バケツをドラムにするのは当然、自転車の空気入れをマイクスタンドに見立てて熱唱していた。子どもの発想力にはいつも感心させられる。年度末で施設を離れたのは高校3年の1名。1人暮らしの期待と不安はあると思うが、頑張ってほしい。



②男子ブロック総括

29年度男の子ブロックの児童は幼児4名、小学生7名、中学生3名、高校生3名の計17名、職員は新任3名が加わり計9名でスタートした。小学生の登校指導と下校指導に追われた4月。疲れた歩けないと泣き、何度も立ち止まった。高校一年生は「赤点」に悪戦苦闘しながらも、アルバイト、部活に挑戦した。夏休みは施設球技大会に全力投球。「黒子のバスケ」に影響を受けバスケ人気も高まった。中3男児は職員と勉強時間を積み重ね、無事高校に合格。高3男児は就職が内定し、GHで新たなスタートをきった。気付けば小学一年生も遅く通学路を歩く事ができるようになった。立ち止まって歩き出す。これからもその一步一步を見守り大切にしていきたい。



平成29年度事業報告

③緊急一時保護ユニット「オリーブ」

今年度4月、緊急一時保護ユニット「オリーブ」は開設、1年間で21名の一時保護児童を受け入れた。保護理由は虐待やネグレクト、保護者の病気や入院など様々だったが、退所後は約7割が家庭復帰、残りが施設措置や他の保護所等、それぞれの場所へと見送っている。最短8日間、最長141日間の保護期間中は一日の流れに沿って学習に遊び、掃除も分担、気持ち良く安心して安全に暮らせる工夫をした。また、市内の図書館や買い物などの外出やバーベキューなどのイベント、学期ごとに遊園地やサーカス、プール等の外出も行い、季節感を大切に過ごしている。



④ファミリーホーム「茜の里」

年度初めに「さんあい」から、二人の男子児童を茜の一員として迎えました。6年生の児童は、週に1回、秩父農工相撲部の稽古に通い心身ともに逞しく成長し、4年生の男子児童は支援学級からの転校でしたが、親学級への通級で先生や友達に恵まれ、本人の努力もあり30年度からは普通学級へ通うことになりました。一年前に「さんあい」から来ているM君は、相変わらず失敗を繰り返していますが、地域では人気者です。コミュニケーションが苦手だったAちゃんは、自ら友達を作り文通を始めています。10分で済む宿題に2時間もすねていたS君、今は、自主的に取り組めるようになりました。又、年度後半に3年の女子児童を受け入れて定員の6名になりました。茜の里では、子どもたち一人ひとりの発達段階に沿った支援に努めてきました。その間、寄居地区内で4名のショートスティを受入れ、また、地域福祉活動や交流を積極的行ったことで、地域の人や学校の友達など遊びに来やすい環境が出来ました。これからも、子どもたちにとってホームが心地よい場所となり、地域の一員として育まれ、自らの夢に向かって羽ばたいていけるような支援を行っていきます。



平成29年度事業報告

⑤グループワーク

さんあいのグループワークの大きな目的は、個別性の質を上げることにあります。つまり普段の生活では見ることのできない子どもたちの特性や頑張りを個別に褒めてあげ自信に繋げることです。

5月 わくのびキャンプ(株式会社アバンティ様より招待) 小学生3名

7月 富士登山 児童10名

8月 Summernight! 2017! (バーベキュー・花火) 中高生10名

8月 児童福祉施設親善球技大会(ソフトボール大会)

11月 クッキーづくり 幼児7名

11月 動物ふれあい体験(動物園への外出) 小学生12名



特に平成29年度は大きな企画として富士登山を実施しました。「俺に登れるかな…」と不安を口にしていた子が一番に登頂。子どもの自信に繋がった活動になりました。

⑥子育てサロン「夏みかん」活動

実施日	参加者	内容
4月29日(土) 10時～14時	さんあい 11人 里親 16人	収穫体験(筍・ふき) 竹細工、ベーゴマ遊び、折り紙
6月17日(土) 10時～14時	さんあい 14人 里親 14人	沢遊び、竹細工(水筒・コップ)
8月26日(土) 10時～14時	さんあい 19人 里親 9人	沢遊び、かき氷 自由遊び、木工、折り紙
10月21日(土):雨天 10時～14時	さんあい 15人 里親 8人	自由工作 自由遊び、折り紙
12月16日(土) 10時～14時	さんあい 12人 里親 13人	みかん狩り ホットケーキづくり、木工
2月17日(土) 10時～14時	さんあい 14人 里親 12人	手打ちうどんづくり 木工、ジャンケンで海賊王

*里親家族、未委託里親の方が参加。さんあい子ども達との交流を深めていただき、未委託里親さんには家族のように一日を過ごしていただいています。また、学校等が休みの時に家庭外泊させていただける里親さんの登録を目指しての交流の場としています。

平成29年度事業報告

5. 各タスクチームの活動報告

①広報タスクチーム

【成果】

- ・さんあい新聞を6月、10月、1月と例年通り年間3回発行することができた。
また、新聞の送付数も年々増えている。これは支援者の拡大につながると思われる。
- ・市内のお店に置かせて頂いている募金箱の回収を行った。
- ・ホームページをリニューアルして、より見やすく親しみやすい物へと改善したことによって、ホームページからの問い合わせが増え、見学者希望、ボランティア希望などの問い合わせが増えた。
- ・支援者の方や、施設に暑中見舞いや年賀状を出した。

【課題】

- ・園長不在の間、開催できなかったカフェさんあいを再開し、近隣の子ども達にも積極的に呼びかけて、さんあいに来てもらえるようにする。
- ・なかなか時間が取れずに募金箱の回収に行けないので、今後繋がりを切らさないような対策が必要だと思われる。



②食育タスクチーム

- エコの日・・・毎月第4水曜日に実施。
食事を作ってくれる人や、食材への感謝の気持ちを大切に、もったいないをなくすため実施。タイの支援にもつながる取り組み。
- 栄養指導・・・今年度は、手洗いチェッカーを使用しての手洗い指導と、ヤクルトさんよりお借りした食育ビデオを活用しての「好き嫌いをなくそう」と題した、栄養指導を行いました。
- さんあいレストラン・・・今年度は、ブッフェ形式の食事を提供しました。子どもたちの休みに合わせ3回



平成29年度事業報告

開催することができました。マナーを習得しながら、たのしい食事の時を持てました。

- 行事食・・・年中行事に合わせ、楽しめる食事の献立立案。
各種イベントに合わせた会食の準備や調理。

③職員育成・研修タスクチーム

【主な活動内容】

- ① さんあいSV藤井和子先生のペアレント・トレーニング研修（ケースカンファレンス等も含め全5回実施）
- ② 新任職員を対象とした「月一学習会」の実施
- ③ さんあい全職員による「ビジネスマナー講座」受講

【成果】

- ① さんあい養育の中心となる「ペアレント・トレーニング」を基本とした施設内研修。地域家庭、里親、近隣施設にもご案内し、外部の方も多数参加（第5回は40名程参加）。子どもの「行動」に焦点を当て、望ましい行動を褒めるという視点は子どもとの良好な関係を築くスキルとなる。
- ② 1年目の職員を対象とした施設内学習会。「法人理念と運営方針」「生教育」「子どもの権利擁護」「生い立ちの整理」「自立支援」など、専門的知識の学習や先輩職員との交流を年7回実施。児童養護施設職員としての基礎を学んでいる。
- ③ 児童養護施設職員であると同時に、子どもにとって一番身近な社会人として、「挨拶」「話し方・言葉使い」「身だしなみ」「立居振舞い」「電話・来客応対」などのビジネスマナーを全職員で学び、日常的に子どもの手本となる人材育成を目指した。企業とは違い小さな組織が多い児童福祉業界ではあるが、職員の質の向上の為にはこうした意識改革も重要である。



平成29年度事業報告

④生教育タスクチーム

生教育タスクチームでは、各年齢層に分けグループごとの生教育、個々の課題に合わせた個別生教育を実施。また、児童間の関係性を知ることによって性被害・加害の予防する為の関係性チェックを定期的に行った。また、子どもの課題を整理するために生活支援アンケートを取り支援に活かしている。その他にも年6回トイレ新聞の発行や2分の1成人式、職員向けの研修も行っている。近年では子どもたちが見るアニメやドラマの確認をし、小さい子がグロテスク・性的な描写の強いアニメを誤って観てしまうことが無いように、テレビを観る時間帯等の配慮を子どもに声掛けできるようにしている。



⑤子どもの権利擁護タスクチーム

権利擁護タスクでは、事例検討やCAPプログラム、各種チェックシートを取り組んだ。子どもサポート委員の先生を招いての事例検討では中学生男児の事例検討を行ったが、様々な課題がある中、処遇での取り組み内容を評価して頂き、日々頭を悩ませている職員としても現在行っている支援に関して自信を持てる機会となった。

CAPに関しては3年に1度取り組んでいるので、在園期間が長い高校生にとっては5回目となる児童もおり、それぞれの年代での「安心、自信、自由」「権利」を考える事の出来る良い機会となった。職員としても権利についての共通理解が持てる場で、今後も入職した職員を中心に権利のについての共通理解が出来るよう取り組んでいきたいと思う。



⑥アフターケアタスクチーム

卒園生や元職員が参加できる行事として「もちつき」と「同窓会」を企画しました。今年度の同窓会は創立記念祭終了後の時間を利用して行われました。20名近くの卒園生・元職員の方々に集まっていただき、短い時間ではありましたが近況報告など楽しい時間を過ごす事ができました。今後は創立記念祭終了後を定例として実施していけるように早めに連絡を行う予定でいます。また、29年度は高校卒業後遠方へ就職、進学したケースがあり、定期的に連絡をとってはいましたが訪問する事の難しさを実感しました。長期休暇などを利用して遠くから遊びに来てくれた卒園生もいましたが、宿泊場所の提供など課題も沢山ありました。退所しても気軽に遊びに来られる場所の提供を考えながら、在園児童が進路選択の目標にするような卒園生を一人でも多く送り出せるようにインケアにも力を入れていけるように取り組んでいきたいと思ひます。



同窓会に集まった卒園生と元職員たち

平成29年度事業報告

写真でみる 29年度



入園・入学を祝う会（4月）



大相撲ふっかちゃん場所見学（4月）



さんあい祭（5月）



わくのびキャンプ参加（5月）



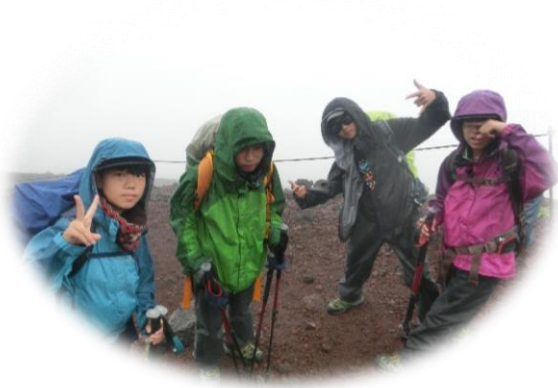
小学校運動会（6月）



誕生会の様子（6月）



ガーデンパーティー（7月）



富士登山（7月）



特別外出（8月）



ぶどうの収穫（8月）



県内施設親善球技大会（8月）



もみの木実習生お別れ会（9月）



中学校運動会（9月）



ヒップホップダンス練習（10月）



台風21号被害（10月）



軽井沢おもちゃ王国招待（11月）



子ども祝福式（11月）



ガーデニングコンテスト（11月）



匿名のクリスマスプレゼント（12月）



新年お餅つ・同窓会（1月）



中庭で雪合戦（1月）



中庭で二重とびの練習（2月）



犬の飼育始まる（3月）



地域の桜満開（3月）



動物の家（ぶどうの木）完成（3月）



卒園・卒業を祝う会（3月）

29年度中の関係者のご支援と神様の恵みに感謝いたします！